News Release

2026 年 11 月 16 日
SCSK セキュリティ株式会社

SCSK セキュリティ、日本最大級の国際セキュリティカンファレンス「CODE BLUE 2026」に 3 年連続で協賛
～エバンジェリスト武井が、AI による攻撃コストの変化と国際標準の活用を解説～

SCSK セキュリティ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：市場 健二、以下 SCSK セキュリティ）は、2026 年 11 月 17 日（火）から 18 日（水）に開催される日本最大級のサイバーセキュリティ国際会議「CODE BLUE 2026」に、2024 年から 3 年連続で協賛します。あわせて、SCSK セキュリティエバンジェリストの武井 滋紀が 11 月 17 日（火）に登壇し、「日本の事例と国際標準から学ぶ、フロンティア AI のリスクとガバナンス」と題して講演します。本講演では、AI の活用によって攻撃に必要なコストが低下している状況を踏まえ、「なぜ自社が攻撃対象になるのか」という問いを起点に、攻撃者の視点に立った事前対策の必要性を説明します。あわせて、国内のサプライチェーン・セキュリティ評価制度（SCS 評価制度）と国際標準「ITU-T X.1060」の役割を整理し、開発・セキュリティ担当者や経営層に求められる対応を紹介します。

1. 協賛の背景

AIの普及は企業の業務を効率化する一方、攻撃者が情報を収集し、攻撃対象を探すためのコストも低下させています。企業が「なぜ自社が狙われたのか」と考える一方、攻撃者は公開情報やシステムの弱点などから条件に合う対象を選びます。そのため、企業には侵入後の監視・対処だけでなく、攻撃者に見える情報や脆弱性を把握し、事前に対策を講じる視点が求められます。

SCSK セキュリティは、2024 年の「CODE BLUE 2024」内で開催された女性向け国際 CTF「Kunoichi Cyber Game」への協賛、2025 年の CTO による「求められるセキュリティ人材像」をテーマとした講演などを通じ、セキュリティ分野の人材育成と知見共有に取り組んできました。

3 年目となる本年は、国際標準化活動にも携わる武井が、AI 時代の攻撃環境の変化を踏まえ、SCS 評価制度と ITU-T X.1060 の対象範囲・使い分け、経営層と現場に求められる判断や役割について解説します。

2. 登壇セッション概要

講演タイトル：日本の事例と国際標準から学ぶ、フロンティア AI のリスクとガバナンス
日時　　：2026 年 11 月 17 日（火）15:00～15:30
会場　　：ベルサール高田馬場　Track 2（HALL A）
登壇者　　：武井 滋紀（SCSK セキュリティ株式会社 エバンジェリスト）
講演内容　：
AI による攻撃コストの低下を踏まえ、企業には攻撃者視点で自社の弱点を捉える事前対策が求められています。本講演では、具体的に次の 3 点を取り上げます。
・AI による攻撃側のコスト低下と、攻撃者が公開情報や脆弱性から攻撃対象を選ぶ背景
・脅威情報を活用した先回りの対策と、SCS 評価制度（サプライチェーンの対策水準）/ITU-T X.1060（セキュ

リティ対応組織の構築・運用）の役割
・開発・情報システム部門、セキュリティ担当者、CISO を含む経営層それぞれに求められる判断・対応
詳細：https://codeblue.jp/program/time-table/day1-t2-opentalks-06/

3. 登壇者プロフィール



武井 滋紀（たけい しげのり）
SCSK セキュリティ株式会社 エバンジェリスト
日本セキュリティオペレーション事業者協議会（ISOG-J） 副代表、WG6 リーダー
ネットワークシステムの開発・構築を経てセキュリティ分野へ転じ、企業のセキュリティ運用体制の構築や人材育成支援に携わる。本業の傍ら、日本セキュリティオペレーション事業者協議会（ISOG-J）副代表・WG6 リーダー、IPA 情報処理安全確保支援士カリキュラム検討委員としても活動し、業界横断での知見共有や課題解決を推進。さらに国際標準化機関 ITU-T にも参画し、セキュリティ関連勧告の策定に携わるなど、国内外で標準化と実践の橋渡しに取り組んでいる。2026 年に日本 ITU 協会賞奨励賞を受賞。2025 年 4 月 1 日より現職。

4.「CODE BLUE 2026」開催概要

名称：CODE BLUE 2026
会期：2026 年 11 月 17 日（火）～18 日（水）
会場：ベルサール高田馬場（東京都新宿区大久保 3-8-2）
主催：CODE BLUE 実行委員会
公式サイト：https://codeblue.jp/

CODE BLUE は、世界トップクラスのセキュリティ専門家による最先端の研究発表や、国際的な情報交換・交流の機会を提供するセキュリティカンファレンスです。最新の技術動向やサイバー脅威に関する知見の共有に加え、人材・組織・法制度など幅広いテーマが網羅されており、次世代育成・コミュニティ形成にも注力しています。

SCSK セキュリティについて

SCSK セキュリティは、サイバーセキュリティ対策に特化した SCSK グループの専門事業会社です。SI 事業で培ったコンサルティング・基盤構築・運用サービスと、最新技術を活用した高品質なプロダクトを組み合せることで、顧客企業のサイバーセキュリティリスクを低減するとともに、セキュリティ領域における投資対効果を最大化させ、 安心・安全な社会の実現に貢献いたします。

商号　　：SCSK セキュリティ株式会社
代表者　：代表取締役社長 市場 健二
本社所在地：東京都江東区豊洲 3-2-20
出資比率 ：SCSK 株式会社 100%
事業内容 ：セキュリティサービス開発・販売（コンサルティング、脆弱性診断/評価、トレーニング等）、セキュリ

SCSKセキュリティ株式会社

ティ製品販売
URL　　:https://scsksecurity.co.jp/

SCSKグループのマテリアリティ

SCSK グループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「安心・安全な社会の提供」に資するものです。

―最新のセキュリティ知見の共有を促進し、企業・業界全体のセキュリティ対応力の向上を図ることで、安心・安全な社会の実現に貢献

・SCSK グループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定
https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係お問い合わせ先】
SCSK セキュリティ株式会社　管理本部　コーポレートマネジメント部　広報担当
E-mail:koho@scsksecurity.co.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。